

(様式1・小学校用①)

令和6年度 学校評価報告

草加市立両新田小学校
(令和7年2月18日作成)

1 学校教育目標 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子	
2 重点目標・努力目標 (1) 学習指導の充実 (2) 幼保小中を一貫した教育の推進 (3) 安全・安心で開かれた学校づくり (4) 生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実 (5) 豊かな心の育成 (6) 健康でたくましい児童の育成	3 前年度の成果と課題 成果 ○教職員の働き方改革の理念に基づく、教育課程の見直し・編制 ○養護教諭が中心となり、児童の事故発生時に関係各所への連絡・処置の迅速かつ確実な実施 ○学校・学級だより・HP等の有効活用による積極的な発信 課題 ●児童の学力向上へ向けた授業改善 ●指導内容等、共通理解を深めた生徒指導の実施 ●地域人材・施設等の有効活用

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]			
領域	評価項目	評価の観点	評価 成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A ○職員集会等で校長による学校経営方針についての伝達・共通理解 ●教科等部会の計画的な実施と仕事内容の分担
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B ○児童の実態をもとにした研究主題の設定・重点教科の設定 ○研究授業・研究協議の実施(年2回) ●教職員一人ひとりの主体的な研修意識の向上
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A ○危機管理マニュアルの改訂・教職員配付 ●反省等を生かしたマンネリ化しない避難訓練の実施
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B ○個人情報管理規定に基づいた対応の推進 ○毎月の安全点検による教頭・安全主任の確実な実施 ●危険個所の早期発見と早期対応
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A ○学校だより、HP等を活用した情報発信 ○学校運営協議会の定期的な開催。開催後の学校運営協議会だよりの発行による協議内容周知 ●地域人材・施設等の有効活用
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B ○年度当初・年度末の幼保小中連絡協議会の開催 ●乗り入れ教員との連絡・打合せ ●中学校区の目指す子ども像の共有

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の働き方改革の理念に基づく、教育課程の見直し・編制（日課・週時程） ●カリキュラムの確実な実施へ向けた管理職の見届け
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○高学年の算数少数指導の充実 ●個に応じたきめ細やかな指導の充実 ●主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○場面絵等教材・教具の充実 ●各教科と関連させた指導の充実
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○担任とALTとの連携・授業の充実 ○外国語主任を中心とした実施計画の調整 ●高学年児童の学習意欲の向上
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会を主体としたあいさつ運動やいじめ撲滅の実施 ●児童が主体的に参加する話し合い活動の実施
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「車いすバスケット」等体験活動の充実 ●地域の人材、施設等の有効活用
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との連絡を密にしたいじめの早期発見・早期対応 ●指導内容等、共通理解を深めた生徒指導の実施
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「あいさつ運動」等で中学校と連携する機会の充実 ●乗り入れ教員との連絡・打合せ ●中学校生活への期待感を増す中学校との連携
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育コーディネーターを中心に配慮を要する児童に対する的確な指導 ○積極的な通常学級との交流 ●保護者への働きかけ・理解を求める対応
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館司書教諭の調整による読み聞かせの実施 ○読み聞かせの方への感謝の会の実施 ●児童が意欲的に読書を推進できる環境整備
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○情報主任中心としたICT機器の有効活用への環境整備 ●教育効果を高めるICT機器の積極的な活用
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科やいじめ撲滅と関連させた人権意識の高揚 ○夏季休業中の教職員研修会の実施 ●日常生活から人権意識を高める工夫

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある 学校づくり	学力向上	基礎学力の定着 授業規律の確立 主体的、対話的で深い学びを実現する授業改善	B	○埼玉県学力・学習状況調査結果における児童把握・担任との手立ての共有 ●学力調査の校内平均正答率の向上(基準:全校・県・市の平均正答率) ○91%の児童が「人の話をしっかりと聞いていると答えている」と回答 ●全員を課題意識をもちながら主体的に授業に参加させる授業改善 ○国語・特別活動を中心教科とした研究授業の実施(年2回) ●自己肯定感、自己有用感を高め、学んだ知識・能力を活用できる児童の育成
	読書活動	読書活動推進の取組	A	○図書館司書教諭が中心となり「教師のお勧め本」「新刊」等ポップ作成などの図書室の掲示物の充実 ○「読み聞かせ」の月1回程度の実施 ●児童の発達段階に応じた読書の推奨 ●児童が意欲的に読書を推進できる環境整備
	学校応援団の取組	安全・安心のための取組の充実	A	○PTAや自治会見守り隊に協力による児童の登下校見守り活動 ●人材確保、人的財産の計画的な有効活用

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- 行事の実施
運動会や授業参観等の行事を概ね実施することができた。教育効果を鑑みた内容の検討をさらに進めていく必要がある。
- 授業規律の確立
人の話を聞いたり話したりすることに関する児童アンケート結果では肯定的な意見を示す児童の割合は86%であった。さらに、全員を授業に参加させるという意識をもたせられるように指導していく。
- 児童の安全確保
養護教諭が中心となり、児童の事故発生時に関係各所への連絡・処置の迅速かつ確実な実施へ向けて動くことができた。
- 校内研修の取組
国語と特別活動を中心教科として校内研究授業を2回実施した。また、教職員の学級経営上の困り感を解消するために話し合う「学級経営力研修会」を実施した。主体的・対話的で深い学びを充実させるために授業改善を行っていく。
- 生徒指導
生徒指導委員会で校内の問題点を共有した。さらに、指導内容等、教職員間で共通理解のもと進めていく。
- 特別支援教育
コーディネーターが各担任に具体的な指導内容を伝え、支援したことで安心して指導できる体制が整った。
- 学校図書館教育
「読み聞かせ」は、ほぼ計画どおり実施することができた。来年度へ向けて人材を確保することが求められる。

6 次年度の改善策

- 学力向上
個に応じたきめ細やかな指導の充実を図ったり中低位層へ焦点をあてた指導の充実を図ったりすることが課題である。同時に、授業規律の確立についても全校で同じ意識で指導できるよう心掛けていく。
- あいさつのできる児童の育成
「あいさつができています」という肯定的な回答が73%であった。教職員から進んで挨拶する姿を見せていくことができるようにする。
- 生徒指導
何に対して指導するのか、教職員の対応がぶれないよう、共通理解を図って対応していく。
- 地域人材・施設等のさらなる有効活用
特に学校運営協議会については、教職員とともに歩んでいく体制を確立し、本校をよりよくするよう努めていく。